

## 第124回 「ふくしま復興支援フォーラム」

日時 2018年3月11日(日) 18時30分～20時30分

テーマ 「浜通りの地域づくり、復興八年目のロードマップを描く

～地域の底力を共に再生するためにできる事～

報告者 鈴木 亮 氏 (ふたば地域サポートセンター準備室ふたすけ室長・

東日本大震災支援全国ネットワーク福島担当)

【プロフィール】1972年鎌倉生まれ。96年、在ニュージーランド・International Pacific Collage 卒業。98年より国際青年環境NGO・A SEED JAPANに参加。99年共同代表、2002年事務局長を務める。現在はA SEED JAPAN ひまごみらいプロジェクトディレクター。東京有機マルシェ「すずめの未来市」主宰。毎月11日には新宿で福島復興の集い「結イレブン」を開催。ASJブックレット「ヨハネスブルグサミットのための Earth Navigation」 「エコへの一步」「メディアを変えれば世界が変わる」編著。2012年9月より東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)福島担当として福島県に在住。2017年4月より富岡町に移り、ふたば地域サポートセンター準備室ふたすけの室長兼雑用。

会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ (アオウゼ)」視聴覚室

MAXふくしま4F (福島市曾根田町1-18) \*入場無料、予約不要

【よびかけ人】 片岡正彦・今野順夫・齋藤紀・鈴木浩・中井勝己・真木實彦・渡邊純  
(URL <http://www.5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html> )  
(ブログ [http://blog.livedoor.jp/tkonno\\_2012/](http://blog.livedoor.jp/tkonno_2012/))  
(連絡先: [tkonno67@gmail.com](mailto:tkonno67@gmail.com) / 今野)

### 【「ふくしま復興支援フォーラム」開催のよびかけ文】 (2011.11.17)

3月11日の東日本大震災によって引き起こされた東京電力福島第一原子力発電所の「過酷事故(シヴィア・アクシデント)」はその後の福島の様相を一変させました。

福島の人々の健康と福島の大地を蝕み続けている放射能汚染の問題に対して、県民は絶えず事後的でしかも不確かな情報に翻弄され、混乱の度を深めながらこれまでの8ヶ月を経過して来ましたが、なお事態の収束に程遠いのが現状であります。

そのような状況の中でも、福島は今、放射能を恐れながら県民の健康と汚染されたふるさとの大地を取り戻すという、果てしなく続く困難でかつ重たい課題を背負いながら、一步一步前に進まざるをえない局面に立たされております。

課題は多面にわたり、かつ錯綜しておりながら、しかも、それらの解決無しには復興に向けての歩を進めることすら困難な状況に直面しております。

将来の復興を見通しながら、当面するこの困難な課題に対して、幅広い観点から自由な意見を交換しあい、一つ一つ問題を解きほぐし、一致点を模索していく必要性がますます強まっているように思われます。十分な仕組みを作ってからとも考えましたが、むしろ走りながら態勢の充実も図って行こうと決断した次第です。～